※令和４年度以降入学生用

学校番号	3036

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎演習Ⅱ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	化学基礎（数研出版）						
副教材等	二訂版 ニューステージ　新化学図表（浜島書店） 新課程版　セミナー化学基礎＋化学（第一学習社） 新課程 大学入学共通テスト対策 チェック＆演習化学基礎（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちの身の回りには，様々な物質が存在しています。化学は物質の性質や反応について学ぶ学問です。２年間の学習を通して基礎的な概念や物質について理解できていることと思います。

さらなる演習問題を通して，物質について人類がどのように探究し利用してきたのかをより深く知り，物質の構成・結合・物質の変化に関する知識や法則を定着させましょう。また，化学が日常生活の中でどのように関わっているのかも学んでいきましょう。

２　学習の到達目標

・化学の基本的な概念や原理・法則に主体的に関わり，物質の性質や量的関係についての基本的概念が理解できる。
・科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付け，起こりうる化学反応やその量的関係を，理論的に考察し予測することができる。
・具体的な例をとらえて，化学が日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解し，諸問題の解決について考察することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，観察，実験などに関する基本操作を習得し，それらの過程や結果を記録・整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学の事物や現象の中に問題 を見いだし，探究する過程を通 して，予測を立てながら結果や事象を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現 している。	物質とその変化に主体的に関 わり，粘り強く科学的に探究し ようとする態度，問題解決の過 程を振り返って考察を深めた り，改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成と化学結合	物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	a:原子の構造や化学結合について理解し，知識を身に付けている。物質の成分や分離などに関する探究活動を行い，探究する方法を習得するとともに，それらの過程や結果を記録・整理している。 b:結晶構造について予測を立てながら考察し，導き出した考えを表現している。 c:物質と人間生活，化学とその役割について関心を持ち，意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	レポート課題
2学期	物質の変化	物質量と化学反応式 酸・塩基 酸化と還元	a:物質量について理解し,知識を身に付けている。化学反応の量的な関係などに関する探究活動を行い，探究する方法を習得するとともに，それらの過程や結果を記録・整理している。 b:化学反応の量的関係について予測を立てながら考察し，物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現している。 c:酸・塩基や酸化還元反応について関心をもち，意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	レポート課題 振り返りシート
3学期	総合実践演習	総合実践演習	a: 問題演習を通じて，化学基礎の学習内容がきちんと身につけられているようにする。 b: 問題演習を通じて，化学基礎の学習内容を整理し，必要に応じて活用できるようにする。 c: 主体的に問題演習に取り組み，問題演習のレポートを作成する。	定期考査	定期考査	レポート課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度